



VOL. 64

令和5年2月号

地 域  
だ よ り

さん が

発行者 三ヶ地域振興会  
(三ヶコミュニティセンター内)

「あいさつで笑顔をふやそう、この三ヶ」 ☎0766-55-1214

明るい三ヶを築くため”さわやか挨拶運動”を推進しましょう

☆三ヶ地区の世帯数・人口

(令和5年1月31日現在)

※世帯数 2,184 世帯

※人口 4,879 人



## たすき 駅伝の由来と襷について

三ヶ地域振興会

会 長 川腰 喜久雄



駅伝といえば、多くの方が正月の「大学箱根駅伝」を思い出すのではないのでしょうか。「駅伝は古来から近世まであった『駅伝制(駅馬・伝馬制)』が由来と言われています。「駅伝制」は「駅馬(えきば)」や「伝馬(てんま)」という馬を使って手紙や物資を運ぶことを主とした制度のことで、「大化の改新」の頃には馬を乗り継ぐための施設や宿泊施設などが整備されました。

駅伝でたすきを使う理由については、駅制が設けられた時代は使者が馬を乗り継いで手紙や荷物を運んでいました。

着物を着て馬に乗るのに邪魔にならないようにたすきを掛けていたとされ、その名残で現代でも駅伝にたすきが使われている説があります。

また、時代の流れとともに馬を使わず人の足で運ぶようになり、飛脚と呼ばれる人たちによって、手紙や荷物等を宿駅ごとに常駐者のリレーにより一人約10キロの行程を引継ぎ運ぶようになったのが郵便文化の原点とされています。

日本で初めて競技として「駅伝」が行われたのは、1917年(大正6年)の「東京套都(てんと)」記念「東海道駅伝徒歩競争」で読売新聞社会部長の土岐善麿の発案で開催されました。

(参考)

- ・ 大阪の三条大橋から東京上野の不忍の池までの約500キロを徒歩で約2週間かかる距離を駅伝方式で3日～4日で走行したという記事があります。
- ・ 「東京套都(てんと)」とは明治維新の際に江戸が東京に移されたことに由来する。



## 自治会総会

実施日：1月22日(日)

三ヶ自治会の総会を三ヶコミュニティセンターで開催しました。事業報告及び収支決算報告、動噴決算報告が承認され引き続き、新年度の役員改選及び事業計画、事業予算が審議され承認しました。

### 令和5年 役員名簿

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
顧問	永森直人		会長	川腰喜久雄	
顧問	中村文隆		副会長兼会計	稲垣俊之	
顧問	寺岡伸清		副会長兼書記	川腰保	
常任顧問	林晃		副会長	堀田紀子	
監事	名取三喜男		監事	稲田輝雄	

### 令和5年 三ヶ町内会長名簿

No.	町名	氏名	No.	町名	氏名
1	水上	愛宕浩	12	伊勢領3区	山口浩
2	住吉町	新任 谷川慎悦	13	伊勢領4区	高田忠直
3	西町	網谷豊彦	14	錦町	島田慶治
4	水源町	新任 坂田勉	15	夢美野	大谷敏之
5	上新町	新任 三箇美代子	16	初音町	新任 柳瀬晃一
6	諏訪町	新任 村井史朗	17	本中町	中本幸男
7	新富町	新任 串田佳隆	18	常盤町	高岡正光
8	白銀町	新任 新川稔	19	田町	新任 伊藤文夫
9	一番町	新任 池松光春	20	高寺	東文晴
10	伊勢領1区	池田圭吾	21	新三ヶ	杉原幹夫
11	伊勢領2区	新田雅之	22	愛宕	新任 稲田寿正

## 親子で門松づくり

実施日：12月25日(日)

主催：三ヶ地域振興会

三ヶコミュニティセンター集会室で「親子で門松作り」を親子35名参加のもと開催しました。

細い竹3本を節の位置を確認しながら切り、松・梅・南天・くま笹等と共に大きな孟宗竹に組み合わせて正月飾りなども飾りつけミニ門松を作りました。

三ヶ長寿会のメンバーの方々から指導を受けながらみなさん上手に出来上がり、うれしそうに自宅に持ち帰りました。



## 住民交流ボウリング大会

1月28日(土) クアトロブーム小杉にて三ヶ住民ボウリング大会が行なわれました。39名の方が、参加され各レーンでは、ストライクを取って歓声をあげ、みなさん楽しそうに投げていました。



### 【成績】2ゲームトータル(ハンディキャップ込み)

	男子(一般)	女子(一般)	男子(子供)	女子(子供)
1位	山本 恵工	荒田 真由美	稲垣 旺介	荒田 紗那
2位	高畑 義広	新村 幸子	新川 拓実	本林 凜香
3位	村岡 哲夫	橋詰 絵美	中川 正隆	竹内 翔音

### ◇ 三ヶ地区に女性防災士 2名誕生 ◇ 防災士抱負 ◇

伊勢領2区 川腰 淳子さん、伊勢領4区 山本 和美さん



私たちは、日頃から安全・安心な地域造りのため、災害から自らの命、家族の命を守るため、適時適切な避難を行なうためには、どのような危険があるのか確認が必要と考えていました。避難場所の確認や避難ルートの検討が必要と考えております。

そのためにも、防災士資格を取得し幼児・児童・要支援者の速やかで安全な誘導に役立てばと思っています。また、避難所開設時には、女性のニーズを反映した運営体制を確立し地域に貢献したいと考えています。



### 福祉委員会開催

実施日 2月10日(金)  
主催 三ヶ社会福祉協議会

新任福祉委員54名参加のもと、福祉委員会を開催しました。福祉委員の役割やいのちのバトン・避難行動要支援者制度の説明などがありました。その後、射水市の出前講座で「高齢者の在宅サービス」を受講しました。

### お知らせ

#### 新民生委員・児童委員及び主任児童委員名簿

令和4年12月1日に改選され下記の方々が、民生委員・児童委員に任命されました。任期は3年間です。

(新任) ・三加 清枝 (水上・住吉町・西町)  
・藍田 和代 (上新町・水源町)  
・伊勢 幸子 (白銀町・新富町・諏訪町)



(再任) ・稲垣 俊之 (田町・新三ヶ) ・池松 厚子 (一番町・夢美野)  
・上村 トモ (伊勢領1区・2区) ・小善 芳治 (高寺・愛宕)  
・島田 正俊 (伊勢領3区・4区)  
・野尻 康子 (錦町・本中町・初音町・常盤町)

(再任) 主任児童委員 上田 秀永 (三ヶ・大江地区)

#### 竹内源造記念館館長 募集

竹内源造記念館館長  
(兼務・小杉まちづくり)

協議会事務局長)

業務内容:

竹内源造記念館管理業務、  
小杉まちづくり協議会事業  
企画・運営業務

問合せ先:

小杉展示館

電話 55-3338

☆ 三ヶ・戸破地区史跡や文化財紹介 ☆

＜開智社跡＞ —三ヶ—

開智社とは、明治6年(1873年)増田伝七が自宅(現. 三ヶ常盤町 青井呉服店)で書店を開きました。その後、明治10年(1873年)には雑誌「相益社談」を発行します。

この雑誌は、当時の日本でも珍しい大衆紙であり、北陸では最初の雑誌でした。明治初期のこの小杉で、このような斬新的な雑誌が発行されたことは特質すべきことであり、小杉地区の文化の高さを伺い知れる場所なのです。

相益社談の執筆者には、司法官僚や新聞論説委員や自由民権運動家をはじめ初代町長・教育者・有識者が連なり、記事には民権・経済・教育・人生・健康など幅広いテーマを取り上げていました。今で言う「週刊誌」に近いかな。

本書は54号で廃刊となりますが、北陸の人々に新しい知識を伝え、社会や生活の改善に大きな役割を果たしたといえるでしょう。

近くを通った時は、足を止めてみて下さい。



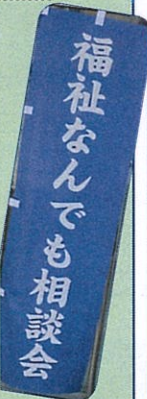
三ヶの史跡・文化財に興味のある人  
**大募集！！**

射水市観光ボランティアガイド  
「つつじの会」では、会員を募集  
しています。連絡先 55-3288  
(竹内源造記念館)

**福祉なんでも相談会開催**

三ヶ社会福祉協議会では、福祉なんでも相談会を開催しております。福祉全般について、なんでもお気軽に相談下さい。

- 開催 毎月第1金曜日
- 時間 午後1時30分から3時
- 場所 三ヶコミュニティセンター  
1階和室
- 相談員 民生委員・児童委員  
小杉・下地域包括支援センター  
(介護支援専門員)
- 次回開催予定日は3月3日(金)です



**お菓子で家を作ろう**

実施日 2月18日(土)  
主催 三ヶ社会福祉協議会

救急薬品市民交流プラザで小学生22名が参加し、ウエハースやチョコレート等を使ってお菓子で家を作りました。子供達に創造力を育ててもらおうと3年ぶりに開催され、各々素敵なお菓子の家を完成させていました。



**3月行事予定**

- ・女性部総会  
日時：3月8日(水) 午後7時30分～  
場所：三ヶコミュニティセンター
- ・常任評議会  
日時：3月9日(木) 午後7時30分～  
場所：三ヶコミュニティセンター



**4月行事予定**

- ・資源回収 4月2日(日) 町内指定場所 [女性部]
- ・三ヶ地域振興会 総会  
日時：4月16日(日) 午後1時30分～  
場所：三ヶコミュニティセンター
- ・三ヶ社会福祉協議会 総会  
日時：4月23日(日) 午後1時30分～  
場所：三ヶコミュニティセンター

